

## 講師) 生ごみ焼却ゼロプラットフォーム勉強会vol.3 参加アンケート結果

- 数値化する、金額に換算して提示、に同感でした。生ごみ量●トンだと他人事でも、●円だと自分ゴトになる人って多いから。井出さんの講座をより多くの方々に観てもらいたい！食ロスを産む仕組み。何度聞いても、どうにかならないものかと思います。大量廃棄で得する人たちがいるのでしょうか。。。これから自治体や学校、さまざまな場所に生ごみゼロの大切さを伝えにいくことが増えます。こんなに説得力のある話ができれば！と思いました。
- 具体的数値と、世界的事実と合わせて国内地域でのゴミを減らした具体例があり、身近に感じる事が出来ました。
- 実態を数値化して把握することができた。年間●万トンというより、一世帯6万円分の食品ロスになっているなど、どのような伝え方が、より、受け入れてもらいやすいか参考になった。また、海外や取り組んでいる自治体の情報も参考になった。
- 京都市のごみ削減事例など、ごみを減らすにはひとつの特効薬があるわけではなく、様々な取り組みが必要ということが印象的でした。また、生ごみはコンポストへ入れたらいいという意識がどこかにありましたが、食材を購入する時からの意識がとても必要だと感じました。
- 環境問題を主観や情緒的に訴えるのではなく、数字を添えてより具体的に語ることは大切だが、その数字も大きすぎるものばかりでは現実感からかけ離れ、身近な数字で指し示すことも重要であることを改めて認識させられた。
- コンポストの普及活動で、事例や数値の裏付けが欲しいと思う事が多いけれど、信頼できるデータを探すのは、時間もかかる上に困難だと感じています、今回の勉強会は、知りたかった事が満載でした。
- なんとなくは知っていたが食品ロス実態が直接聞けてよかった。食品ロスの排出だけでもCO2削減、税金抑制につながるのになんとかしたいと思う気持ちが高まった。
- どうしても感覚や実体験で伝えがちだったので、数字を示すことで、伝わりやすかったり私も再確認できることが多々あると知り、今後活かしていきたいと考えました。
- いろんな内容がデータで表してあるので伝えやすいと思いました。食品ロスはとても大切な問題なのでしっかり勉強したいと思います。
- 賞味期限も、3分の1ルールも日本の焼却量も問題視し、とても気になっていたことですが、15年も活動していると、あきらめの境地も加わって忘れかけていたこともありました。井出さんの具体的な数値を伴うお話で、改めて問題を整理することができました。1世帯年間に6万円も捨てているなんて、確かにもったいないですよー！
- 新たな学びが多かったですが、『まずはリデュースが大切』『数字で見える化』が特に印象的でした。
- 冷静に分析されていて、知見が豊か！